

氏名	丸山 優	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	老年看護学				
学位	博士(看護学)				
学歴	1999年千葉大学看護学部卒業、2004年千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程修了、2017年順天堂大学医療看護学研究科博士後期課程修了				
経歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助手、2012年同講師、2018年同准教授				
所属学会(役職)	日本老年看護学会、日本看護科学学会、日本看護教育学会、日本認知症ケア学会、千葉看護学会、プライマリケア学会、日本保健医療福祉連携教育学会、SPU学会				

【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	カラー写真で学ぶ高齢者の看護技術(第2版)	共著	医歯薬出版株式会社、全139ページ 担当83-102	大塚真理子、國澤尚子、服部都、沢田淳子、辻玲子、田中敦子、丸山優、出貝裕子、成澤健、細田理恵子、渡邊草子	2018.1
(2) 論文					
1	在宅医療・介護を推進する多職種連携研修プログラム「三郷モデル」の開発プロセスと評価	共著	保健医療福祉科学、8、53-60	丸山優、伊藤善典、鳶末憲子、井上和久、柴山志穂美、新井麻紀子	2019.3
(3) 学会発表					
1	高齢患者を受け入れる医療療養病床で取得したい情報-急性期病床からの転入に関連して-	単著	日本老年看護学会第23回学術集会、久留米市	○丸山優	2018.6
2	認知症高齢者の急性期治療時の支援を目指した多職種合同研修の成果-IPWコンピテンシー自己評価尺度を用いた評価-	共著	認知症ケア学会、新潟市	○丸山優、田中敦子、須賀夏子、國澤尚子、畔上光代、辻玲子、菊地悦子、木戸宜子、鶴岡浩樹、大塚真理子	2018.6
3	「認知症高齢者の長期療養をIPWで支えるリーダー研修会」の効果(第1報)-研修直後の参加者の感想から-	共著	第11回日本保健医療福祉連携教育学会、阿見町	○丸山優、國澤尚子、畔上光代、水間夏子、辻玲子、田中敦子、菊地悦子、木戸宜子、鶴岡浩樹、大塚真理子	2018.8
4	「認知症高齢者の長期療養をIPWで支えるリーダー研修会」の効果(第2報)-専門職連携に対する1年後の自己評価の変化-	共著	第11回日本保健医療福祉連携教育学会、阿見町	○國澤尚子、丸山優、畔上光代、水間夏子、辻玲子、田中敦子、菊地悦子、木戸宜子、鶴岡浩樹、大塚真理子	2018.8
5	地域における認知症高齢者の長期療養を支えるIPWに向けた研修の効果-介護支援専門員へのIPWコンピテンシー自己評価尺度を用いた評価-	共著	第11回日本保健医療福祉連携教育学会、阿見町	○畔上光代、鶴岡浩樹、木戸宜子、水間夏子、辻玲子、丸山優、田中敦子、菊地悦子、國澤尚子、大塚真理子	2018.8
6	Information-sharing about post-acute elderly patients who transfer to long-term care wards:Survey of professionals in a long-term care ward in JAPAN	単著	All Together Better Health XI、オーランド	○Yu Maruyama	2018.9
(4) その他					
1	該当なし				

2. 競争的資金等の研究				
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	急性期治療後の高齢者が転入する後方支援施設での多職種情報共有包括ケアモデルの開発(研究代表者)	2015.4～2019.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)	認知症高齢者と家族の質の高い継続的な暮らしを目指した研修の社会実装と評価(研究分担者)	2018.4～2022.3	
3	埼玉県立大学奨励研究 科研費コース	急性期病床から継続療養施設に移行した高齢患者への「転入時ケア実践モデル」の導入	2018.4～2019.1	
3. 教育業績				
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
(1) 講義				
1	IPW論	2018.4～2018.7	2年次生を対象に、IPWの考え方、実践に関する講義、演習を実施した。各回の振り返りを基に、円滑に学習が進むように導入を工夫した。	
2	老年看護学Ⅲ	2019.1	3年次生を対象に、医療機関と地域が継続して高齢者を支援することを学べるようにグループワークを支援した。	
(2) 演習				
1	老年看護学Ⅱ	2018.4～2018.7	3年次生を対象に、老年看護の対象者理解と援助方法の学習を目的として、講義、事例演習、実技演習を行った。今年度は、疾患に関する講義を新たに担当し、学生の理解を促進するよう教材を作成した。また、グループでの学習を深めるために教授方法を工夫した。科目責任者として、学生の間際評価を基にグループワークが円滑に進むよう、主体的に進行する方法を工夫した。	
(3) 実習				
1	老年看護学実習Ⅰ	2018.4～2018.6	2年次生を対象に、老人福祉センターにおける実習を担当した。元気な高齢者との関わりを通して、高齢者の特徴と多様性を学べるように関わった。	
2	老年看護学実習Ⅱ	2018.10～2018.12	3年次生を対象に、神経内科病棟および内科病棟における実習を担当した。脆弱な高齢者の生活をとらえた看護実践を指導した。	
3	総合実習(老年看護学領域)	2018.7	4年次生を対象に、在宅支援診療所および医療療養病床における実習を担当した。個々の課題に合わせて学習が進められるように関わった。	
4	IPW実習	2018.1	在宅診療を行う診療所で、対象者の望む生活を支援するための多職種で協働した活動について学生が主体的に学べるように支援した。	
(4) 論文指導				
1	学部生卒業論文指導	2018.4～2019.1	5名	
(5) その他				
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	看護研究研修会講師	越谷誠和病院	看護研究について	2018.11
2	看護研究指導講師	越谷誠和病院	看護研究指導	2018.4～2019.3
3	看護研究指導講師	獨協医科大学埼玉医療センター	看護研究指導	2018.4～2019.3
4	埼玉県看護協会第7支部看護研究発表会講師	埼玉県看護協会第7支部	看護研究発表に対する講評	2019.1
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	日本老年看護学会	生涯学習支援委員会 委員	2018.6～2020.6	
2	日本老年看護学会	第24回学術集会企画委員会 委員	2017.6～2019.6	
3	日本老年看護学会	査読委員	2018.7～2020.6	
4	千葉看護学会	査読委員	2018.4～2021.3	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			

5. 学内運営(委員会委員)			
1	教務運営部会		
2	看護学科カリキュラム運営検討委員会		
3	看護学科保健師助産師関連科目履修者選考委員		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		